

探訪 新ライフスタイル

新型コロナウイルス感染抑制を目的とした行動制限が緩和され、外出機会も増えてきた。旅行の需要も回復つつある。旅の最大の楽しみは、訪れる場所にある特有の生活に触れることだ。これは地方だけでなく大都市でも例外ではない。横浜市は江戸末期の開国以

ライフスタイル

横浜に学ぶ「都市力」の源泉



都市型モビリティとして脚光を浴びるヨコハマ・エア・キャビン(横浜市)

多様な生活が生むワクワク感

来、国際都市として海外の文化を受け入れてきた歴史。同市中心部にある横浜中華街は約500店以上の中華料理店や中国雑貨店などが集まる日本最大規模のチャイナタウンだ。筆者は週

身を置くことだけが楽しみではない。朝になれば中華の独特な服装だけでなく、近隣の再開発地区「みなとみらい21」内の高層ビルや海を背に模造の太極刀で舞う姿は映える。

町駅に向かう。この駅近くの広場とみなとみらい21の臨海部を結ぶのが4月に誕生したロープウェイ「ヨコハマ・エア・キャビン」だ。最大40層の高さから街を見下ろしながら630mの距離を移動する様子は、近未来都市のモビリティのあり方を示しているようだ。

末、中華街にあるローズホテル横浜に宿泊して横浜の街に触れることにした。このホテルは老舗中華料理店の重慶飯店の創業者が1981年に開業。オリエンタルな外観も相まって中華街のシンボルの一つとなった。ホテルでは毎週金曜日に「横浜ジャズナイト」が開かれ、外は妖艶さも醸し出す夜のネオンが輝く。中華街全体が非日常の世界となる。

目を奪われる。中華街に隣接する港灣沿いの山下公園はホテルから徒歩3分ほどの場所にある。7万4000平方メートルの芝生の広場で日常の景色に遭遇する。目に飛び込んできたのは、太極拳で体を動かすグループ。午前9時から毎日1時間程度、古来より中国に伝承された柔らかなったようにもみえる。

山下公園から昭和初期の近代洋風建築が残る関内地区を抜け、みなとみらい21(商)創造研究所代表

松本大地

夜